

2026年3月24日
日本空港ビルディング株式会社

～快適なバリアフリー観光の実現に向けて～ 手話 CG による案内サービスの実証実験を開始



開発中の画面



学生による動画制作の様子

日本空港ビルディング株式会社は、国立大学法人筑波技術大学と株式会社 NHK エンタープライズと共同で、東京都の「先端技術を活用したバリアフリー観光推進事業」※1において採択された「手話 CG を活用した観光の実現」に取り組んでいます。

当事業は、駅・空港・ホテル等の公共施設において、聴覚に障がいのある方が直面する情報取得の困難を解消するため、「音声案内のバリアフリー化」を目的としています。

このたび、国内空港で初めて、羽田空港において本取り組みの社会実装に向けた実証実験を実施します。手話 CG を活用した施設案内を提供し、聴覚に障がいのある方にも安心して快適にご利用いただけるユニバーサルデザインの実現を推進してまいります。

事業名：手話 CG を活用した観光の実現

期間：2026年3月25日～2027年3月（予定）

場所：第1ターミナル 地下1階 案内カウンター

事業内容：羽田空港利用者から寄せられるお問い合わせを FAQ として整理し、タブレット端末に収録した「手話 CG 動画」により、質問への回答や情報提供を行います。手話 CG 動画には、NHK エンタープライズが開発し、東京 2025 デフリンピックの公式アンバサダーを務めたデジタルヒューマン「KIKI」が登場します。なお、この動画は筑波技術大学の学生が中心となり、手話の実演や表現の監修を行っています。

連携先：国立大学法人筑波技術大学、株式会社 NHK エンタープライズ

本取り組みは、2025年10月に日本空港ビルディング株式会社と国立大学法人筑波技術大学との間で締結した連携協定の一環として実施するものです。「人にも環境にもやさしい先進的空港」の実現を目指し、継続的な連携を進めてまいります。

※1 東京都リリース <https://www.metro.tokyo.lg.jp/information/press/2025/11/2025110413>

本件に関するお問い合わせ：

日本空港ビルディング株式会社 事業開発推進本部 事業開発部 事業開発課

TEL：03-5757-8098 9:00～17:30（土日祝除く）